

口絵写真および地すべりの概要 八方岩地すべり（長野県所管）



<災害の概要：(斜面防災技術 Vol.42, No.1 口絵写真より)>

平成 26 年 11 月 22 日、長野県北部を震源とする地震(M6.7)が発生した。この地震により地表地震断層から北東に約 14km 離れた小谷村中土地区の八方岩地すべり防止区域で、斜面長約 500m・幅 400m の大規模な地すべりが発生した(写真提供は長野県)。

尾根直下を頭部とする地すべりで、右側方崖から滑落崖にかけて、落差数 m 以上の崖が新たに形成された。末端は、段丘面を利用した田んぼ面より下位にあり、田面を隆起・変形させている。地すべりの右岸側の斜面にあった集落のうち、1 軒が地すべりの押し出しによって破壊された。